2月1日現在の大崎市の人口（単位：人・世帯）

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	37,910	－ 43	39,293	－ 62	77,203	－ 105	32,276
松山	2,800	－ 7	2,962	－ 11	5,762	－ 18	2,198
三本木	3,828	－ 10	3,819	－ 3	7,647	－ 13	2,738
鹿島台	5,538	－ 12	5,913	－ 11	11,451	－ 23	4,549
岩出山	5,022	－ 5	5,164	－ 7	10,186	－ 12	4,141
鳴子温泉	2,639	－ 7	2,885	－ 9	5,524	－ 16	2,589
田尻	5,109	－ 14	5,201	－ 13	10,310	－ 27	3,611
市全体	62,846	－ 98	65,237	－ 116	128,083	－ 214	52,102

問 市政情報課統計担当　☎23-5091

交通死亡事故件数

（1月末日現在・右欄は前年比）

発生件数	0 件	－ 3
死亡者数	0 人	－ 3

火災発生件数

（1月末日現在・右欄は前年比）

建物火災	2 件	0
林野火災	0 件	0
車両火災	0 件	0
その他火災	0 件	－ 1
合計	2 件	－ 1

空間放射線量の測定結果

（単位：マイクロシーベルト /h）

2月16日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.06	0.06
松山総合支所	0.05	0.05
三本木総合支所	0.05	0.05
鹿島台総合支所	0.05	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.04

問 防災安全課消防担当・交通防犯担当　☎23-5144

今月の納税

納期限：3月31日(水)

※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。口座振替を利用している人は、記帳にて残高と振替結果を確認してください。

□ 軽自動車税	—
□ 固定資産税・都市計画税	—
□ 市県民税	—
上 国民健康保険税	第9期
上 介護保険料	第9期
上 後期高齢者医療保険料	第9期

問 納税課収納担当　☎23-5148

3月号の主な内容

❹ 新型コロナウイルスワクチン接種が始まります

❻ 東日本大震災から10年 僕たち 私たちは大人になった

❽ 創業支援 あなたの夢の実現に向けて

⓬ 市政トピックス　2月の主な出来事

⓭ 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち

⓮ 今月のお知らせ 地域の課題解決に二つの交付金が活用されています　ほか

㉖ 子育て支援情報

㉗ 育児相談・乳幼児健診

㉘ 休日当番医　ほか

パタ崎さんの観光ひとくちメモ

その56

演歌歌手 水森かおりさんの新曲「鳴子峡」

問 観光交流課 ☎23-7097

「風が　風が　風が～♪」で始まる『鳴子峡』はみんなもう聞いたかな？

18年連続でNHK紅白歌合戦出場を果たした〝ご当地ソングの女王〟水森かおりさんの新曲『鳴子峡』が1月19日に発売されたよ！

オリコン演歌・歌謡ランキング1位だったんだ。すごい人気だよね。

この歌は、鳴子温泉地域の鳴子峡を舞台に、悲しい恋を切々と綴っていて、昨年12月には鳴子峡とホテルオニコウベでミュージックビデオの撮影も行ったんだ。動画投稿サイトYouTubeに公開されているから、QRコードをスマートフォンで読み込むと簡単に見ることができるよ！

大崎市が誇る観光名所である鳴子峡を情景としたこの歌を、みんなで応援していこうね！

▲水森かおり『鳴子峡』ミュージックビデオ QRコード

今月の表紙

冬晴れの2月12日、下伊場野小学校全校児童の皆さんが、小学校の近くを流れている鳴瀬川にサケの稚魚を放流しました。

サケの稚魚は、児童の皆さんが、昨年の12月に孵化場からいただいた1,000個の卵からかえし、放流するまで水槽で大切に育ててきました。児童の皆さんは、「元気に戻って来てね。」と声を掛けながら稚魚を放し、川を泳いで行く様子を見守っていました。

放流後は、「卵からかえった時は、うれしかった。無事川に放流することができて、安心しました。私たちも元気に育っていきましょう。」と振り返り、発表していました。

一般にサケが大きくなり川に戻ってくるのは、2年から5年後と言われています。とても待ち遠しいですね。

オオサキワンダーミュージアム

人と大自然の青空博物館

vol.11

世界農業遺産「大崎耕土」情報発信コーナーを訪れてみませんか

問 世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、屋根の無い博物館「フィールドミュージアム」構想のもと、世界農業遺産「大崎耕土」の地域資源の見える化の取り組みを行っています。

見える化の一環として、道の駅おおさきや田尻総合支所、市図書館において、世界農業遺産「大崎耕土」の情報発信コーナーの整備をしています。

これらの情報発信コーナーにおいては、展示パネルや各種パンフレットの設置、30種類以上の地域資源の映像を放映するなど、世界農業遺産「大崎耕土」を身近に感じてもらえるような発信をしています。また、360°バーチャルリアリティ（VR）映像により、大崎耕土を仮想で体験できるコーナーも準備していますので、屋敷林「居久根」や南原穴堰など、大崎耕土が誇る地域資源をご堪能ください。

今後は、大崎耕土の生物多様性などに関するVR映像などの追加や各地域資源を巡る総合案内板の設置などを予定していますので、各施設にお越しの際は、ぜひ、情報発信コーナーにお立ち寄りください。

◀VR体験ができる田尻総合支所

◀図書館での情報発信も充実を図ります

大崎耕土ウェブサイト
OSAKI KOUDO Website

市長コラム 天地人

大震災10年 創生へキックオフ

3月11日には、未曾有の大災害 東日本大震災から10年の節目を迎えます。

本市は、内陸部最大の被災地でしたが、復興計画「真の豊かさ 連携と協働による大崎の創生」の旗印の下、市民の皆さまのご協力、国、県、全国からのご支援により、内陸部の復興モデルを目指してハード・ソフトの創造的復興に取り組んでまいりました。

内陸部最大規模の災害公営住宅建設、災害拠点病院の大崎市民病院建設、付加価値農業拠点施設カントリーエレベーターの整備、デジタル防災行政無線の整備、心の復興拠点新図書館の建設、中心市街地復興まちづくりである消防庁舎建設、道の駅おおさきの開設、子育て支援拠点施設のオープン、緒絶川周辺整備事業、七日町西地区再開発事業、市役所本庁舎・田尻支所・鳴子支所建設等々…。

国の国土強靭化対策を活用した、道路・河川・無電柱化などの安全インフラ整備を促進してまいりました。

共助力を構築するために、53団体との災害時応援協定の締結、全行政区での自主防災組織の結成や、一時避難場所機能を備えた集会所施設の建設支援、広域連携を整えるために18自治体との相互応援協定の締結も図れました。

未来への創生を希い、世界農業遺産認定を果たし、SDGs理念も加えたアクションプランも実践中です。

しかし、この10年の間に関東・東北豪雨や、令和元年東日本台風などの大規模自然災害も頻発しており、2月13日には、福島県沖を震源とした震度6強の地震が発生しました。

大震災から10年のこの節目に当たり、「3・11」を風化させず教訓を伝承し、より安全で持続可能な、笑顔あふれる大崎を創生してまいりましょう。

大崎市長 伊藤康志